教科名	国語	科目	現代文（進学クラス、文系・理系）	単位	４単位

１．教科書および副教材

教科書：『精選現代文Ｂ』（東京書籍）〔高２から継続使用〕

副教材：『2023 共通テスト対策問題集　４国語現代文』（河合出版）

『プログレス現代文　標準編』（いいずな書店）〔高２から継続使用〕

『大学入学共通テストへのアプローチ』（いいずな書店）〔高２から継続使用〕

『改訂版入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500』（いいずな書店）〔高２から継続使用〕

２．授業の目標および内容

『2023 共通テスト対策問題集』を用いて、現代文読解の基礎・基本を確認しつつ、問題演習を行うことで実戦的な読解力を養成します。それに加え、設問解説も行い、解答の導き方を定着させます。また週に１回程度『改訂版 TOP2500』による小テストを実施し、語彙力を高めます。

学年全体で古典領域と総合し、基礎学力到達度テストにおいて全付属校における本校の平均偏差値が 53 以上となることを目標とします。

なお、「現代文①（２時間）」では論理的な文章を、「現代文②（２時間）」では文学的な文章を中心に扱いますが、授業時数の都合で、教材が入れ替わる可能性もあります。

３．試験について

	１学期		２学期	
定期試験	一次　５月	二次　７月	一次　10 月	二次　12 月
学力試験	第１回　６月		第２回　９月	

※内容・評価等について

①　定期試験…授業範囲内のもので作題します。なお、「現代文①」「現代文②」を総合して１つのテストを実施します。

②　学力試験…日大基礎学力到達度テストの出題形式を見据えて、国語常識、論理的な文章、文学的な文章等をバランス良く出題し、古典分野と合わせて 100 点満点で出題します。進学クラス・特進クラス共通問題です。

４．課題・補習について

課題・補習は、生徒の状況を鑑みて実施します。漢字語彙等の小テストに不合格の場合には、再テストまたは特別な課題があります。

５．評価の視点

定期試験の得点を中心とし、平常点を加味し評価します。平常点は、授業への姿勢や課題等の提出状況、授業中の小テストなどを参考に算出していきます。

授業計画

学期	教　　材	学　習　内　容	備　　考
1	〔現代文①：論理的な文章中心〕 ①問題集を用いた演習 〔現代文②：文学的な文章中心〕 ②問題集を用いた演習 〔現代文①：論理的な文章中心〕 ①問題集を用いた演習 〔現代文②：文学的な文章中心〕 ②問題集を用いた演習	○論理的な文章を読解する上で必要である、言葉の言い換え、具体・抽象の流れ、対比、同値と対立など基礎的・基本的な技能の定着を確認します。 ○論理的な文章を読解する際に、上記の基礎的・基本的な技能に加え、意味段落の確認、本文末尾と冒頭の関係、筆者が価値判断を示す表現への着目などにも留意することで、内容理解を深めます。 ○文学的な文章を読解する際にも、同値と対立に着目し、主観的な読解にならないように留意します。 ○問題演習と設問解説を通じて、基礎学力到達度テストや大学入試に向けた実戦力を身につけます。 ○論理的文章、文学的文章等を読解する際に必要な漢字語彙力、及び各テーマの知識を、小テスト等を通じて獲得します。	＊『TOP2500』によって基本的に週１～２回漢字語彙小テストを実施する。その上で定着を図るべく、同範囲の漢字語彙について考査でも出題する。
2	〔現代文①：論理的な文章中心〕 ①問題集を用いた演習 〔現代文②：文学的な文章中心〕 ②問題集を用いた演習 〔現代文①：論理的な文章中心〕 ①問題集を用いた演習 〔現代文②：文学的な文章中心〕 ②問題集を用いた演習	○論理的な文章を読解する上で必要である、言葉の言い換え、具体・抽象の流れ、対比、同値と対立など基礎的・基本的な技能の定着を確認します。 ○論理的な文章を読解する際に、上記の基礎的・基本的な技能に加え、意味段落の確認、本文末尾と冒頭の関係、筆者が価値判断を示す表現への着目などにも留意することで、内容理解を深めます。 ○文学的な文章を読解する際にも、同値と対立に着目し、主観的な読解にならないように留意します。 ○必要に応じて、近現代の文学史を復習します。 ○問題演習と設問解説を通じて、基礎学力到達度テストや大学入試に向けた実戦力を身につけます。 ○論理的文章、文学的文章等を読解する際に必要な漢字語彙力、及び各テーマの知識を、小テスト等を通じて獲得します。	＊『TOP2500』によって基本的に週１～２回漢字語彙小テストを実施する。その上で定着を図るべく、同範囲の漢字語彙について考査でも出題する。 ＊一次テスト以降は、状況に応じて教科書教材を用いる可能性もある。